

ついで本音

麻生首相は、7月25日、日本青年会議所の講演で次のように述べた。

どう考えても日本は高齢者、いわゆる65歳以上の人たちが元氣だ。全人口の約20%が65歳以上、その65歳以上の人たちは元氣に働ける。いわゆる介護を必要としない人たちは実に8割を超えている。8割は元氣なんだ。

「その元氣な高齢者をいかに使うか。」この人たちは皆さんと違って、「働くことしか才能がないと思ってください。」

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2009年8月3日(月) N050
地域から明るい未来を作ろう

「利用する」存在であることを示している。

◆ 「国民の程度」低い？
 細田幹事長発言。

働くということに絶対の能力はある。80(歳)過ぎて遊びを覚えても遅い。遊びを覚えるなら「青年会議所の間」くらいだ。そのころから訓練しておかないと、60過ぎて80過ぎて手習いなんて遅い。

麻生首相の、これらの言葉は「国民のための政府」ではない。「政府のために国民が存在する」との発想が原点にある。

政府が国民とは離れた高いところに位置しており、国民は政府の事情を満たすために

自民党の細田博之幹

事長は7月24日、報道各社のインタビュで、麻生首相の言動や党内の混乱を取り上げたマスコミ報道に関連し「どうでもいいことだが、その方がみんな面白いんだから。国民の程度かもしれない」などと述べ、怒りをあらわにした。

内閣・政党支持率の低迷に立ちを爆発させたようだが、国民の政治意識は低いと指摘したと受け取れるだけに、終了後に謝罪し発言を撤回した。

この人は、自分の欲望を知性で抑えられない。並以下のB

級人、漢字を読めないの
 人と変わらない。目の奥
 に、は虫類の脳みそがちょ
 ロ々かいま見える。

細田氏は、経済指標の悪化に触れ「これだけ落ち込みがある割に、何とか支えている。経済界は評価している」と指摘した上で「国民に伝わらない。(首相は)字が読めないらしいですなんて楽しんでんじやつてる。ぶれたらしないなんて。大したことはないんだよ」と強調。さらに「日本国の程度を表している。それは程度なんだ。国民の程度かもしれない」と自分の程度を棚に上げ述べた。

報道各社の世論調査について

政党は税金の値段」という計算になる。

4年に一度、約300万

円の買い物というと、確かに

に自動車を買ひ替えるかど

に分かりや

すく書

いたマニフェストをつ

くり、有権者は自動車

を買うぐらいの重みを

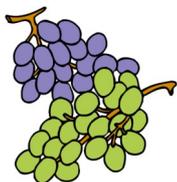
感じてマニフェストを吟味

し、政権選択の選挙だから

こそ、子孫のためにも投票

に行く事が最低限求められ

ています。



一票の値段は三百二十万円

慶応大の曾根泰教授は「ハイブリッド車1台分ぐら

の「価値」という。衆院選では勝った方のマニフェストの「税金の使い道リスト」に沿って税金が使われる。1年の日本の予算を約80兆円とする。衆院任期4年分で320兆円。これを有権者1億人で割ると1人当たり320万円が「一票

円を基軸通貨に

通常、個人は、公共の利益を促進しようと思図しているわけでもないし、自分が社会の利益をどれだけ増進しているのかを知っているわけでもない。意図しているのは、自分自身の安全と利得だけである。

ドルが基軸通貨であることができるのは、「予想の無限の連鎖」が働いているからです。すなわち、人々が、ドルが基軸通貨だと信じているから、ドルは基軸通貨なのです。グローバル市場経済にとつて真の危機は、金融危機でもなければ、それにつづく恐慌でもない。ハイパー・インフレーションである。そして、グローバル市場経済におけるハイパー・インフレーションとは、もちろん、基軸通貨ドルの価値が暴落してしまう「ドル危機」です。

いても「麻生さんをどう思いますか、鳩山由紀夫民主党代表とどっちがいいですか、って、もういいかげんにしてくれ、という感じなんだけどね、本当は、それ聞いて何か意味ありますか」と不満をぶつけた。